

【骨子】

第2期 一宮市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

「トカイナカ」で子育てにやさしく安心して暮らせるまち
～木曾川が育む自然と名古屋から10分の利便性を活かしたまちづくり～

令和元年11月19日

一宮市

【目次】

はじめに【現在、未記入】

第1章 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

1 国の動向	1
2 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の趣旨	2
3 計画期間	3
4 策定の方針	3

第2章 第1期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

1 人口の推移	4
2 第1期総合戦略の検証	5

第3章 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成

第4章 基本目標と施策

◎基本目標1「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる	11
◎基本目標2「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる	15
◎基本目標3「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる	18
◎基本目標4「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる	21
◎基本目標5「安心して快適に暮らせるまち」をつくる	24

第5章 推進・検証体制

1 本市の推進体制	27
2 進捗管理・検証体制	27

参考資料

○ 人口ビジョン（抜粋）	30
○ アンケート結果	32

【以下、現在、未記入】

○ 推進会議（設置要綱・委員名簿）	○
○ 推進本部（設置規則・委員名簿）	○
○ 策定の経過	○

第1章 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

1 国の動向

2008（平成 20）年に始まった人口減少が、今後、加速度的に進み、地方だけでなく、国の経済社会に対して大きな重荷になるとの認識から、国は、人口減少の克服・地方創生に向け、国を挙げて取り組むこととし、2014（平成 26）年 12 月 27 日に、国の人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および今後 5 ヶ年の施策の基本的方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定しました。

第 1 期総合戦略の最終年にあたる 2019（令和元）年 6 月 21 日に閣議決定した「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」において、次期総合戦略の策定が明示され、令和元年 12 月〇日、「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

国の「第 2 期」まち・ひと・しごと創生総合戦略

■基本的な考え方

◆人口減少と地域経済縮小の克服

- ①「東京一極集中」を是正する
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
- ③地域の特性に即して地域課題を解決する

◆まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、それを支える「まち」を活性化させる。

◆全体の枠組

第 1 期で根づいた地方創生の意義や取組を継続することとし、人口の「長期ビジョン」の下に今後 5 年間の基本目標や施策を「総合戦略」に掲げて実行する第 1 期の枠組を引き続き維持する。

■政策 5 原則

第 1 期総合戦略に引き続き次の政策原則に基づき、施策を展開する。

- ・自立性：構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。
- ・将来性：地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ・地域性：画一的な手法や縦割りの支援でなく、各地域の実態に合った施策を支援する。
- ・直接性：限られた財源や時間の中で最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ・結果重視：PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

■ 6つの新たな視点

第2期総合戦略では、次の新たな視点に重点を置いて施策を進める。

- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する（関係人口、地方への寄附・投資）
- ② 新しい時代の流れを力にする（Society5.0[※]、SDGs）
- ③ 人材を育て活かす（人材の掘り起こし、人材育成、活躍の場）
- ④ 民間と協働する（NPO・地域づくり団体・企業等との連携）
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる（女性、高齢者、障害者、外国人等）
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む（地域の経済社会構造を俯瞰したマネジメント）

※Society5.0：AI、IoTやロボット技術などの革新的な技術を様々な分野に展開して、経済の発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会

■ 第2期総合戦略での4つの基本目標 ※下線部は第1期からの変更箇所

基本目標1：地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

基本目標2：地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

2 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の趣旨

急速に進展する少子高齢化・人口減少という課題に対し、国と一体となって取り組み、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2016（平成28）年2月に策定しました。

この「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、2060年までを計画期間とする「人口ビジョン」と、人口ビジョンの達成に向け取り組むべき目標等をまとめた「第1期総合戦略」の2部構成となっています。第1期総合戦略は、2019（令和元）年度までが計画期間となっていますが、地方創生は、中長期の人口の推移等、次の世代と危機感を共有し、まちの活力を維持していく、息の長い取組です。

このため、本市においても「継続を力にする」という姿勢で、第1期総合戦略の5年間で根付いた地方創生の意識や取組を継続し、次のステップに向けて更に深化させていくため、「第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

第2期総合戦略は、『人口ビジョン』の下に今後5年間の基本目標や施策を『総合戦略』に掲げて実行する」という第1期の枠組みを維持して策定を行い、地方創生の充実・強化に取り組んでいきます。

3 計画期間

第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は、2020（令和2）～2024（令和6）年度とします。

4 策定の方針

- (1) 人口ビジョンは、総人口や年齢構成の推計値と、現状値において大きな乖離が見られないため、修正は行いません。
- (2) 国・愛知県の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案した計画とします。
- (3) 施策の展開にあたっては、国の総合戦略の政策5原則に留意します。
- (4) 第2期総合戦略で国が示した「6つの新たな視点」を考慮するとともに、「健康・医療」という市独自の視点も加えて、第2期総合戦略の策定を行います。
- (5) 第1期総合戦略に引き続き、市民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアの関係者との連携を図りながら策定を進めます。
- (6) 第2期総合戦略の策定に際して、国は「基本目標について、従来の枠組みを維持しつつ、必要な強化を行う」としていることを踏まえ、本市の第2期総合戦略も、第1期総合戦略の枠組みを維持しつつ、施策・具体的な事業・KPI等について、必要な見直しを行うこととします。

●一宮市の総合戦略の5つの基本目標とキーワード

第1期総合戦略では、国の基本目標や策定の視点を踏まえ、5つの基本目標と、それぞれの内容を象徴するキーワードを定めました。第2期総合戦略においても、この基本目標、キーワードを継続し、同じ枠組みとします。

なお、国が新たな視点を取り入れ、基本目標を一部修正していることを踏まえ、本市では、具体的な施策の検討において新たな視点を取り入れていきます。

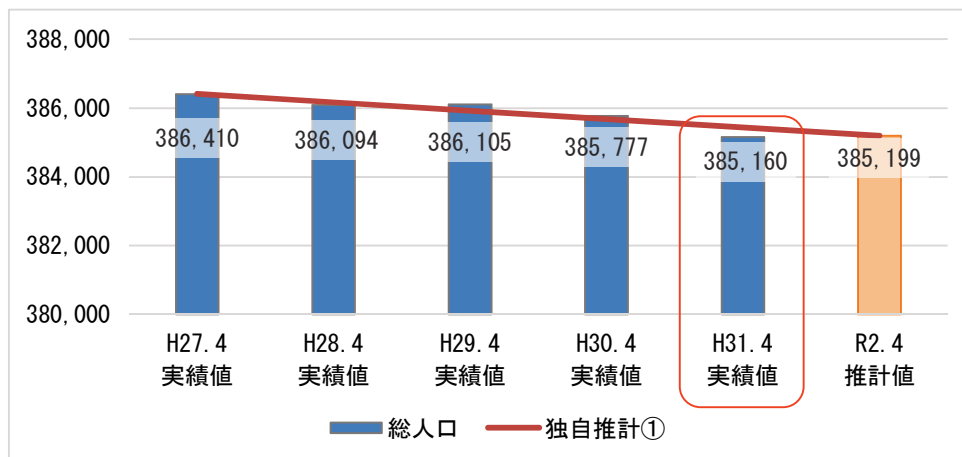
基本目標1 「希望」	「若い世代の希望をかなえ、 充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる
基本目標2 「調和」	「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、 暮らしたくなるまち」をつくる
基本目標3 「魅力」	「一宮らしさをアピールし、 ひとが集まる魅力あるまち」をつくる
基本目標4 「活力」	「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、 働く力を育むまち」をつくる
基本目標5 「安心」	「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

第2章 第1期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

1 人口の推移

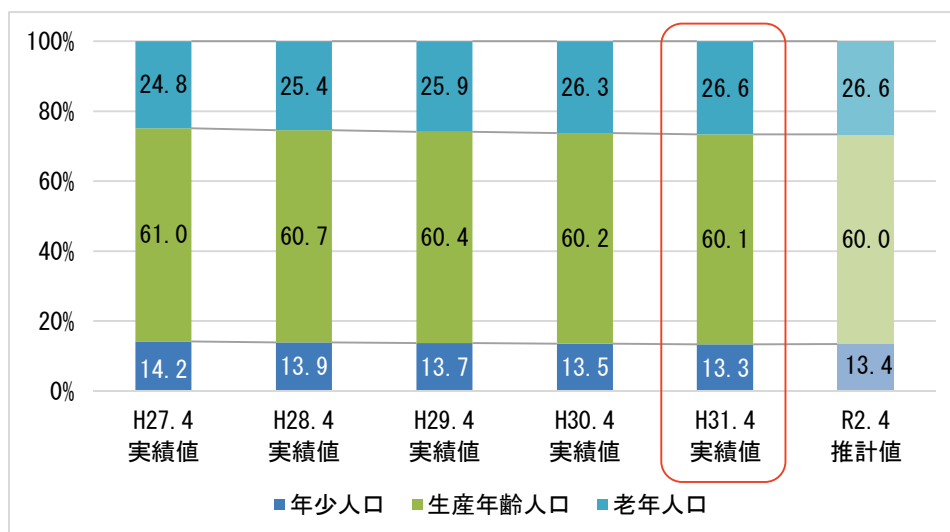
(1) 総人口の推移

2019（平成 31）年 4 月時点において、人口ビジョン（市独自推計①）の推計値より僅かに下回ったものの、推計と大きな乖離はありませんでした。



(2) 年齢3区分の推移

人口ビジョンで推計した割合とほぼ同じく推移しています。



※一宮市住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）より

2 第1期総合戦略の検証

第1期総合戦略では、5つの基本目標の下、21の施策と55の新規事業に取り組んできました。

次期総合戦略を策定するにあたり、第1期総合戦略ではどのようなことに取り組み、どのような成果、課題が残ったのかを整理します。

基本目標1：希望

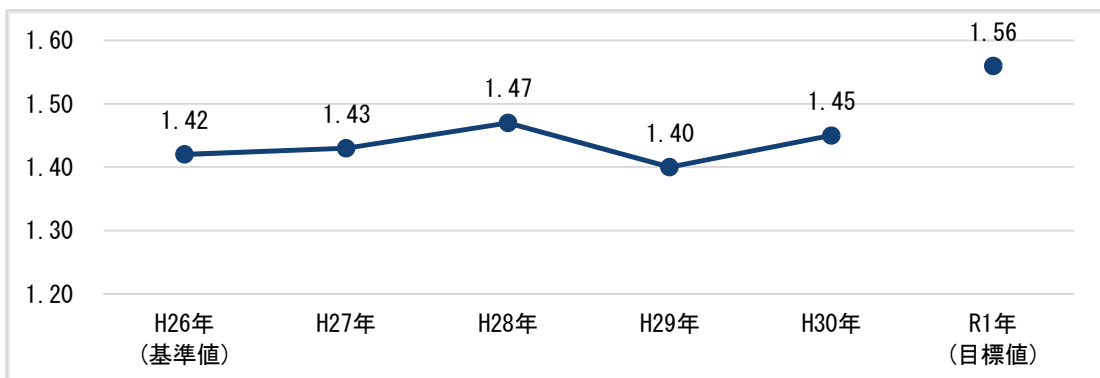
「若い世代の希望をかなえ、
充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

基本目標1では、妊娠・出産・子育ての支援に取り組みました。

- ・結婚から妊娠・出産の希望をかなえられるよう、婚活イベントの開催、高額となる不妊治療費の補助等を行いました。
- ・母子健康包括支援センターを設置し、妊娠・出産・子育てについて、ワンストップで相談できる体制をつくりました。また、すべての妊婦に保健師が面接して保健指導を行い、出産までの不安に切れ目なく寄り添う支援を開始しました。
- ・中学校までの医療費（保険診療分）の自己負担額の全額助成など子育て世代への経済的支援を開始しました。
- ・乳児保育施設や放課後児童クラブを整備・拡充し、保護者が仕事と子育てを両立できる環境整備に取り組みました。なお、放課後児童クラブでは、対象学年を拡大したことで待機児童が増加したため、引き続き、放課後子ども教室との連携など工夫を凝らし、待機児童の解消に取り組む必要があります。
- ・2020（令和2）年の教科化に先立ち実施したプログラミング教育など、創意工夫をした教育を行うとともに、小中学校の普通教室に空調設備を設置し、子どもたちが健やかに育ち学べる環境を整えました。



●数値目標：合計特殊出生率の推移



※年単位で数値を把握

【資料：一宮市人口動態】

子育て施策に積極的に取り組んできましたが、「合計特殊出生率」は、目標値には程遠い結果となりました。第2期においては、より若い世代のニーズを把握し、子どもを産み、育てやすい環境の充実・強化を図る必要があります。

基本目標2：調和

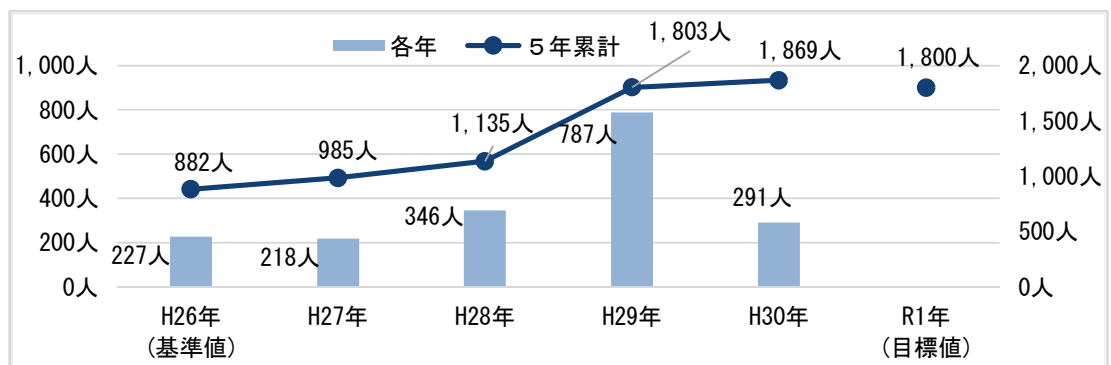
「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

基本目標2では、本市への移住・定住促進を目指した環境整備に取り組みました。

- ・一宮駅周辺の土地の高度利用を促進するため、容積率の緩和を行うなど、中心市街地のにぎわい創出に取り組みました。
- ・市民・企業と行政が一体となったイベントの開催や遊歩道・自転車道の整備など、木曾川の自然環境を活かした魅力づくりに取り組みました。今後は、遊歩道・自転車道がより有効に活用できるよう、拠点施設の整備にも取り組んでいく必要があります。
- ・公園への健康遊具の設置やウォーキングマップの作成など、日常生活に運動を取り入れられる取組を進めるとともに、生活習慣病の予防効果を高めるため、特定健康診査等の検査項目を追加しました。一方、健診受診率は伸び悩んでいるため、市民が自ら健康意識を高められるような取組を一層推進していく必要があります。



●数値目標：社会増（転入超過）の推移



※年単位で数値を把握。5年累計値は、その年を含めた前5年間の社会増の合計値

【資料：住民基本台帳】

数値目標の「社会増（転入超過）の5年累計」では、目標を達成し、これまでの取組の効果が着実に実を結んでいるといえます。ただし、転入超過の数は年によってばらつきがあるため、高い水準で安定できるよう、今後も移住・定住施策を充実させていく必要があります。

基本目標 3：魅力

「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

基本目標 3 では、市の魅力・知名度の向上などシティプロモーションに取り組み、交流人口の増加を図りました。

- ・七夕まつりでは、伝統的な部分は継承しつつ、流行等を考慮した飾り付けやイベントを行い、飽きられず、毎年新たに興味を持ってもらえるような趣向を凝らしました。

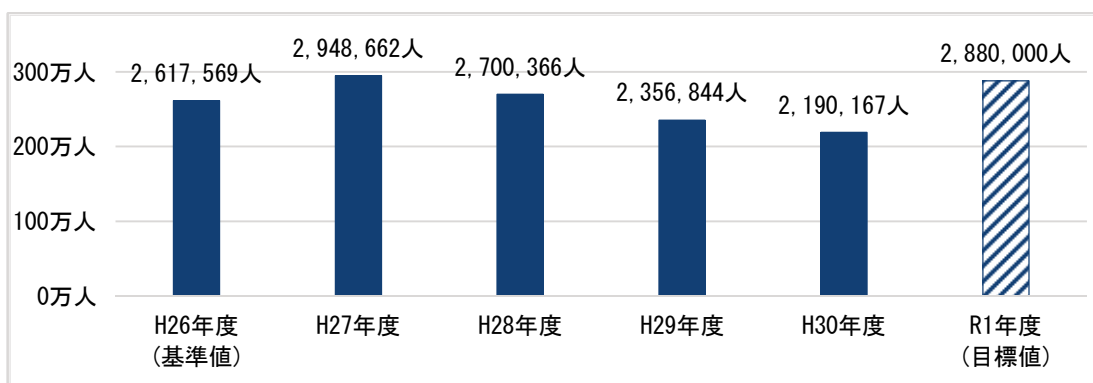


- ・市を PR する動画を作成し、YouTube や市内外の各所で放映するとともに、映画やテレビ撮影のロケ誘致を行う事で、市の知名度やイメージの向上に取り組みました。また、フリーWi-Fi（無料公衆無線 LAN）サービスを拡大し、本市に訪れた人が快適に観光・滞在できる環境を整えました。



- ・地元の農産物、商品、製品を集めた「いちのみや物産展」の企画・開催、いちのみや応援寄附（ふるさと納税）の寄附者に対する魅力ある特産品の提供を行い、市の魅力を広く発信しました。
- ・地域ブランド調査での本市の認知度は、全国 1,000 市区町村中 300 番台と伸び悩んだため、より効果的な情報発信と、一層の市の魅力向上が求められます。

●数値目標：主要観光イベント来客数の推移



【資料：一宮市調べ】

この指標は、「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」など、本市を代表する7つのイベントの来客者数の合計です。2015（平成 27）年度は目標を超える来客者数がありましたが、屋外のイベントであるため、近年は台風などの天候の影響を受けて数値が減少しています。

これまでの事業の効果も検証しながら、引き続き、まちの強みや魅力を活かした各種イベントを開催し、交流人口を獲得していくことが重要です。

基本目標 4：活力

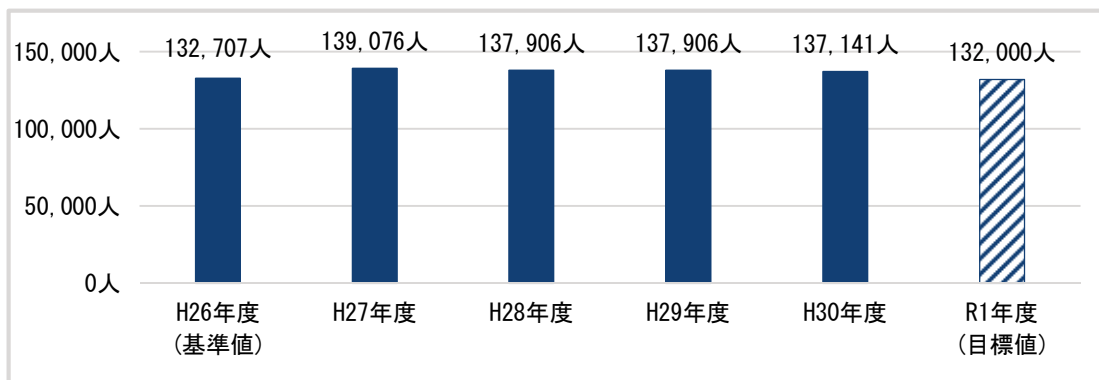
「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

基本目標 4 では、企業誘致と産業振興に取り組みました。

- ・地方創生に関する交付金を受けて、地場産業のテキスタイル産業の高付加価値化、後継人材の育成に取り組むとともに、発信力のある著名人と連携した「尾州ブランド」の発信や、国内外への販路拡大など各種施策に積極的に取り組みました。
- ・インターチェンジや既存工業用地周辺において、道路整備を行い、産業・企業の積極的な誘致を推進しました。また、市内で事業所を新設する事業者に対する奨励措置は、毎年活用件数が伸び、雇用機会の確保が着実に進みました。
- ・農業の6次産業化、地場産農産物・農産加工品のブランド化や高付加価値化に対する支援、販売促進による市場拡大に取り組みました。
- ・市の保有するデータのオープンデータ化を進め、地域産業の活性化を図りました。ただし、利活用はあまり進んでいないため、今後は、オープンデータカタログサイトの登録データの内容を精査し、登録数の増加に取り組む必要があります。



●数値目標：市内従業者数の推移



【資料：経済センサス】

テキスタイル産業の活性化、中小企業でのワーク・ライフ・バランスの推進など、課題に応じた各種事業の実施が市内事業所の人材確保につながり、市内従業者数の目標を達成することができました。

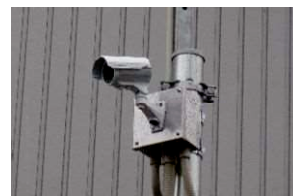
今後も、雇用拡大、地域経済の活性化に向けて、引き続き市内事業者の育成・支援に注力するとともに新たな産業の振興も推進していく必要があります。

基本目標 5 : 安心

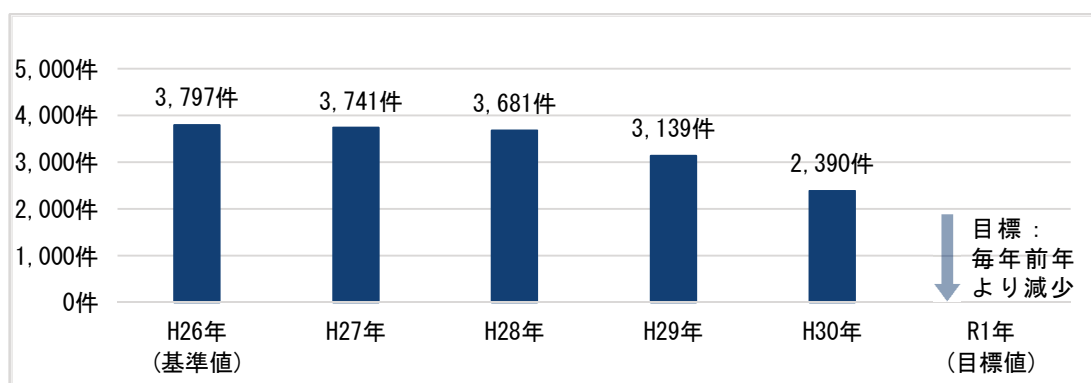
「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

基本目標 5 では、防犯・防災や生活の利便性の向上、交通施策に取り組みました。

- ・町内会やマンション管理組合の防犯カメラの設置補助を行うことで、防犯カメラの普及を図るとともに、市の施設等にも警察からのアドバイスを受けながら、効果的に防犯カメラを設置しました。
- ・鉄道駅、バス停留所にアクセスしづらい地域の交通利便性を向上させるため、予約制の乗合タクシー「i-バスミニ」を導入しました。また、将来の自動運転の社会実装を見据え、愛知県が全国に先駆けて行っている自動運転の実証実験に協力するなど、移動に関する様々な取組を行いました。高齢化社会の進展を見据え、今後も引き続き、移動に関する利便性の向上に取り組んでいく必要があります。
- ・交通系 IC カード支払いやインターネットを利用した税のクレジットカード納付の導入、i-ビルでの期日前投票所の開設など、行政サービスの向上を行いました。今後も、時代のニーズに即した技術や発想を柔軟に導入し、行政サービスの向上に取り組んでいく必要があります。



●数値目標：年間犯罪（刑法犯）認知件数の推移



※年単位で数値を把握

【資料：愛知県警察本部】

毎年の刑法犯（殺人、強盗、窃盗などの刑法上の犯罪）の認知件数を指標としていましたが、行政と市民と地域が連携したオール一宮での防犯体制の強化の成果が表れ、毎年、確実に件数が減少してきました。

生活の本拠となる場所を選択する際には、まちの安全・安心や生活の利便性が重要視されるため、若い世代を始めとしたあらゆる世代から選ばれるまちとなるよう今後も引き続き、安全・安心、快適に寄与する各種施策に取り組む必要があります。

第3章 第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成

●人口ビジョン※：一宮市の人口の将来展望

2060年に339,503人の人口を維持 ⇒ (参考資料 p.30)



●総合戦略

- ・人口ビジョンで描いた本市の人口の将来展望の実現を目指し、第1期総合戦略の成果、課題も踏まえ、諸施策を展開します。
- ・本市を取り巻く社会潮流や2021(令和3)年の中核市移行・市制施行100周年などの契機を踏まえ、施策に活かします。
- ・総合戦略には、各基本目標にその達成に向けた基本的方向を提示するとともに、計画期間内に取り組む具体的な施策を盛り込みます。

◎総合戦略の構成

基本目標の下に基本的方向、施策を定めるとともに、達成状況を確認するための指標を、次のとおり設定します。

●階層

○基本目標

国の目標を勘案して、本市が設定した5つの目標



○基本的方向

基本目標ごとに目標を達成するための施策の方向性を設定



○施策

基本的方向に沿った具体的な取組を設定

●指標

数値目標

基本目標の進み具合を検証するための指標

※行政活動の結果(アウトプット)でなく、その結果もたらされた成果(アウトカム)の指標を設定

重要業績評価指標(KPI※)

項目の進捗状況を検証するための指標

※Key Performance Indicatorの略称
※原則、当該項目のアウトカムに係る指標を設定しますが、アウトプットに係る指標によるものもあります。

第4章 基本目標と施策

基本目標 1 「希望」

「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

■ 数値目標

指 標	現状値	目標値
○○○○○○	○○○	○○○

■ 基本的方向

- 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまでの支援や、仕事と家庭の両立への支援など、個々人の希望に応じて、子どもを生み育てられる環境を創出する。
- 安心して子どもを預けられる環境整備と子育て世代の経済的負担軽減により、子育てしやすいまちを創出する。
- 一宮市独自の創意工夫をした教育内容により、次世代を担う子どもが健やかに育ち学べる環境を創出する。

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援

- 若い世代が結婚の希望をかなえられるよう、異性との出会い、交流のきっかけづくりを行います。
- 安心して妊娠・出産できる環境を整備するため、不妊治療に対する助成を行うことで、経済的・精神的負担の軽減を図るとともに、不妊・不育症に関する相談などの支援を検討します。
- 妊娠・出産から子育て期までの様々な不安や相談に対し、保健師等がワンストップで総合的な相談支援を行うなど、妊娠期からの切れ目のない支援に取り組みます。
- 子育て支援センターや保育園などの子育てに関する情報を集約してウェブサイト、スマートフォンアプリで発信するとともに、アプリの電子母子手帳機能を活用して、予防接種や離乳食の開始時期などの母子保健に関する情報を提供するなど、ニーズの多様化に応じた情報提供を行います。

具体的な事業

青年文化教室での出会い支援
 不妊・不育症に関する支援
 母子健康包括支援センター事業
 産後ケア事業
 産後ヘルプ事業
 子育て支援サイト・アプリ・電子母子手帳運用事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

② 安心して子どもを預けられる環境の整備

- 働く人にやさしいまち、仕事と子育ての両立ができるまちを目指し、乳児の保育や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実を図ります。
- 子どもの病中・病後に仕事を休めない場合等の保育や、医療的ケア児*（幼児）の保育など、保育の不安を解消するための様々な施策を行い、保護者が安心して就労できる環境づくりを推進します。

※医療的ケア児：日常的に経管栄養やインスリン注射などの医療的行為を必要とする子どものこと

具体的な事業

放課後児童クラブ・放課後子ども教室の総合的推進
 重点地区で開設する小規模保育事業所への補助
 病児・病後児保育事業
 医療的ケア児保育事業【新】
 ファミリー・サポート・センター事業
 子ども一時預かり事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

③ 経済的支援による子育て世代の負担軽減

- 子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、小中学生の入院や通院にかかる医療費（保険診療分）の自己負担分の全額助成や、高等学校等の教育に係る助成を行います。
- 多子世帯を対象に、2019（令和元）年10月からの幼児教育・保育無償化の対象とはならない幼児の副食費の軽減や乳児の保育料の軽減等を行います。

具体的な事業

子ども医療助成事業
 高等学校等就学助成事業
 多子世帯の保育料等の軽減

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

④ 仕事と家庭の両立への支援

- 仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境づくりや、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を支援します。
- 女性の活躍促進や、男女がともに働きやすく、子育てしやすい環境づくりを進めるため、男女共同参画を推進します。

具体的な事業

仕事と家庭の両立等に取り組む企業への支援
 男女共同参画推進事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

⑤ 特色ある教育の実施

- 次世代を担う子どもたちが情報社会の進展に主体的に対応できるよう、ICT（情報通信技術）機器を活用して学び・育つ環境を整備するため、小中学校へのタブレット型パソコンの導入を検討します。
- 一宮市独自の教育を展開するとともに、各学校が主体的に特色ある学校づくりに取り組み、学校が楽しいと感じながら学べる環境づくりを進めます。

具体的な事業

小中学校へのタブレット型パソコン導入の検討【新】
魅力あふれる学校づくり推進事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
○○○○○	○○	○○

基本目標 2 「調和」

「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

■ 数値目標

指 標	現状値	目標値
○○○○○○	○○○	○○○

■ 基本的方向

- 名古屋から 10 分の利便性と、木曾川の自然環境という田舎ののどかさを併せもつ「トカイナカ」の魅力を活かし、移住・定住したくなるまちを創出する。
- 効率的で質の高い医療提供体制を構築するとともに、市民の健康の意識醸成を図り、誰もが健康に暮らすことのできる環境を創出する。
- 中心市街地の活性化により、にぎわいのある魅力あるまちを創出する。

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 戦略的な情報発信と移住・定住促進

- 子育て世代の移住・定住を促進するため、本市の「暮らしやすさ」「子育てしやすさ」などの魅力を効果的に情報発信します。
- 東京一極集中の是正に向けた国の施策に呼応し、就業等で東京圏から移住する人の経済的な負担の軽減を図ることで、本市への UIJ ターンを促進します。

具体的な事業

デュークス (DEWks)[※]に向けた情報発信事業
移住促進支援事業

※DEWks：子どもがいる共働き夫婦のこと（Double Employed With Kids の略）

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
○○○○○	○○	○○

② 自然と親しめる木曾川沿川の整備

- 約 18km にも及ぶ木曾川の豊かな自然を活用し、国と連携しながら自転車道・遊歩道のネットワークの整備を行います。
- 民間活力の導入も視野に入れながら、富田山公園を始めとした木曾川河川敷の拠点となる施設を整備し、子育て世代を中心とした様々な人が集う、新たなにぎわいの場を創造します。
- 木曾川に生息する天然記念物であるイタセンパラの保護啓発、川と人の暮らしとの関わりを考える学習機会などを通じ、木曾川沿川の自然に親しむ環境づくりを行います。

具体的な事業

木曾川沿川遊歩道・自転車道整備事業
 木曾川河川敷公園拠点整備事業
 木曾川イタセンパラ保護啓発事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

③ 誰もが健康に暮らせるまちづくり

- 医療機関の間の適時適切な情報共有により、質の高い医療提供体制を構築するとともに、医療に関する相談体制を築き、医療安全に関する助言および情報提供等を行います。
- 自らが無理なく健康的な生活を選択できるよう、健康づくりの意識づけを行います。
- 心身ともに健康で活力ある生活ができるよう、遊歩道や公園など身近なところで気軽に運動ができる環境づくりを行います。
- 高齢者が気軽に交流できる場所や運動ができる機会をつくることで介護の未然の防止を図り、高齢期においても健康で暮らせるよう支援します。

具体的な事業

地域医療連携ネットワークの構築【新】
 医療安全支援センターの設置【新】
 生活習慣病予防事業
 健康マイレージ対象事業の拡大
 地域スポーツ振興事業

緑道整備事業

すこやか健康づくり公園整備事業

おでかけ広場の拡大

貯筋教室の開催

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化

- 効率的な土地利用により、中心市街地への居住誘導および商業施設等の立地促進を図ります。
- 歩行者を中心とした、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを進め、中心市街地に新たなにぎわいを創出します。
- 商工団体等が行う催事等の経費の一部を補助し、官民一体となってにぎわいを創出します。

具体的な事業

一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出

まちなかウォークアブル推進事業【新】

商工団体等事業補助

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

基本目標 3

「魅力」

「一宮らしさをアピールし、
ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

■ 数値目標

指 標	現状値	目標値
○○○○○○	○○○	○○○

■ 基本的方向

- 観光イベントに磨きをかけ、訪れたいまちを創出する。
- モーニングサービスをはじめとした一宮市独自の文化や特産物等を情報発信することにより、人を惹きつけるまちを創出する。
- 継続的な一宮市のファンになってもらえるような工夫を凝らし、関係人口をより獲得できるまちを創出する。
- 歴史、文化などの地域資源を掘り起こして最大限に活かすとともに、注目の集まるスポーツイベントを誘致・開催するなど、魅力のあふれるまちを創出する。

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 魅力ある集客イベントの開催

- 本市を代表する伝統的な観光を時代に即してブラッシュアップし、新たな魅力を創出します。
- 木曾川沿川の自然を活かした各種イベントやミズベリング138*により、交流人口の拡大を図るとともに、豊かな自然環境などの本市の魅力を来場者にアピールします。

※ミズベリング138：木曾川の水辺において、市民・企業・行政等の多様な主体が一体となり、水辺のもつ魅力を活かしたにぎわいを創出する活動のこと

具体的な事業

趣向を凝らした七夕まつりの開催
 冬の七夕カーニバル・一宮イルミネーションの開催
 濃尾大花火の開催
 国営木曾三川公園三派川地区センターイベントの開催

いちのみやリバーサイドフェスティバルの開催
ミズベリング138事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

② 市の魅力・知名度の向上

- 市制施行100周年を好機と捉え、市の魅力・知名度の向上につなげます。
- 市内の名所・史跡、喫茶文化など市独自の魅力を観光ツールとして展開するとともに、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やウェブサイト等の様々なメディアを通じ、市の魅力を積極的に情報発信します。
- フィルム・コミッション活動による映画やドラマ等のロケ地誘致、撮影支援を行い、国内のみならず海外にも本市の魅力を発信します。
- 市の農産物や特産品等を、一宮市のブランド品として認証・推奨することや寄附者へ記念品として贈呈することで、市の魅力を多方面に広めます。

具体的な事業

100周年記念事業【新】

観光情報の発信

観光協会運営事業

一宮コスチュームタウン構想事業

一宮モーニングプロジェクト

フィルム・コミッション活動

一宮市観光物産品の推奨認定

いちのみや食ブランド推進事業

いちのみや応援寄附に対する魅力ある特産品の提供

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

③ 歴史・文化・スポーツを活用した集客

- 本市の歴史・文化や郷土の偉人等にスポットを当てて、地域資源として磨きをかけ、交流人口の拡大を図ります。
- 子どもたちが学校とは異なる場で地域の自然・歴史・民俗などについて学び、幅広い視野を身につける環境をつくることで、将来の地元を担う人材を育成します。
- 魅力あるスポーツ大会の開催の機会を捉えて、本市の魅力を全国に発信するとともに、全国および世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致等により、競技関係者、大会観戦者などの誘客の獲得につなげます。

具体的な事業

- 市川房枝生家跡地の活用【新】
- 文化財活用環境づくり事業
- 美濃路みちおこしプロジェクト
- 旧林家住宅保存活用事業
- ミュージアムキッズクラブ事業
- 世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致
- いちのみやタワーパークマラソンの開催
- 広域スポーツ大会の開催
- 関西・一宮セブンズ(7人制ラグビーの大会)の開催

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

基本目標 4 「活力」

「企業誘致や既存産業の活性化により
新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

■ 数値目標

指 標	現状値	目標値
○○○○○○	○○○	○○○

■ 基本的方向

- 多様な手段による企業誘致により、新たな産業と安定した雇用を創出する。
- 尾州テキスタイル産業をはじめとする市内産業の活性化を図るため、将来の担い手の人材の発掘・育成を行うとともに、付加価値を高め、稼げる産業を創出する。
- 地域経済を支える中小企業の持続的な発展と新たに創業する事業所への支援を行うとともに、農業分野では、6次産業化、地産地消、地域ブランド化を推進するなど、既存産業の育成・支援を行い、安定した雇用を創出する。

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 多様な手段による企業誘致の推進

- 次世代を担う付加価値の高い産業や、雇用を生み出す企業の誘致を図るため、奨励措置を行うとともに、産業拠点においては規制緩和やインフラ整備を検討するなど、企業が立地しやすい環境の整備に努めます。
- 産官金が連携しながら、起業・創業の支援を行います。

具体的な事業

企業立地促進奨励推進事業
産業拠点の企業立地支援事業
産業競争力強化法における創業支援事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
○○○○○	○○	○○

② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化

- 地場産業であるテキスタイル産業の活性化を図るため、次世代を担う人材の発掘と育成を推進し、尾州産地の技術の伝承と後継者の確保を図ります。
- 尾州テキスタイルの優位性を広く国内外に発信するため、海外有名デザイナーや大手アパレル等とタイアップし、品質に優れた生地を活かした新たなブランドとなる製品づくりに取り組みます。

具体的な事業

尾州の匠 ものづくりリレー事業

ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催事業

産地ツアーによる尾州生地と有名アパレルブランドとのマッチング

尾州産地ブランド発信事業

尾州春夏物展示会開催負担事業

繊維新商品開発補助事業

産業観光プロモーション調査事業

F D C 人材育成事業

F D C 尾州モノづくり・プロモーション支援事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

③ 既存産業の育成・支援

- 新商品の開発、新分野の販路拡大、国内外への展示会など事業所の活発な活動を支援し、地域産業の活性化を図ります。
- 事業所の人手不足の解消と働きたい人の希望を叶えるため、ハローワーク等と連携し、若者、高齢者、女性の就職支援を行います。
- いちのみや野菜プロジェクトなどにより地産地消を一層推進するとともに、地場産農産物・農産加工品のブランド化や6次産業化の支援による販売促進、ICT化等による作業の効率化を進め、魅力と持続的発展性のある農業を目指します。

具体的な事業

一宮市新商品開発・新分野開拓事業者支援事業

一宮市貿易振興事業等補助事業

一宮市特許及び実用新案出願支援事業

就職支援事業

6次産業化・地産地消推進事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

基本目標 5
「安心」

「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

■ 数値目標

指 標	現状値	目標値
○○○○○○	○○○	○○○

■ 基本的方向

- 行政と地域・民間が協働し、防災・防犯体制、交通安全対策の充実・強化を図り、安全で安心な暮らしができるまちを創出する。
- AI・IoT やロボット技術などの未来技術を様々な分野で柔軟に取り込み、生活の利便性が高く、より快適に暮せるまちを創出する。
- 公共交通の環境整備とともに、多様な主体との連携や新たなモビリティサービスの調査・研究を行い、生活に必要な施設にアクセスしやすいまちを創出する。

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 行政と地域・民間が協働した安全・安心なまちづくりの推進

- 大規模災害に備え、国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、防災・災害対策の強化に取り組みます。
- 災害時に必要となる物資を適切に備蓄するとともに、避難所機能の向上を行います。
- 災害発生時の被害の拡大を防止するため、災害情報共有システムや SNS、ケーブルテレビ・コミュニティ FM 等を活用し、迅速な情報発信や情報収集を行います。
- 地域が設置する防犯カメラの維持に対する支援など、行政と地域が一体となって防犯対策に取り組みます。
- 交通ビッグデータを活用してハンプ[※]を設置するなど、より効果的な交通安全対策に、地域と連携して取り組みます。

※ハンプ：車両の速度を抑制するための人工的な舗装の段差のこと

具体的な事業

- 国土強靱化地域計画推進事業
- 避難所機能向上事業
- 防災情報伝達事業
- 高齢者宅を訪問しての防犯・交通安全の個別指導
- 自主防犯活動支援事業
- 防犯カメラ設置・維持補助事業
- 防犯灯設置・維持補助事業
- 交通ビッグデータを活用した生活道路交通安全対策事業

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

② 未来技術も含めた行政サービスの推進

- スマートフォンやタブレットから、時間や場所を問わず、知りたい行政情報を取得できるよう、AI等を活用した対話型の問合せサービスの導入を検討します。
- 官民協働による諸課題の解決を図るため、市が保有するデータをオープンデータとして積極的に公開するとともに、オープンデータの利活用を促進します。
- 中核市への移行を機に、福祉分野の各種相談を集約化した総合的な相談窓口を設置し、世代や障害の有無を問わない横断的な相談体制を整えます。
- 市民のライフスタイルやニーズに応じて納税や公金支払いの利便性を向上させるため、キャッシュレスの導入や国のマイナポータル[※]による公金決済への対応について情報収集や検討を行い、公金納付方法の多様化を図ります。

※マイナポータル：行政手続きがワンストップででき、行政からのお知らせが自動的に届くなどのオンラインサービスのこと

具体的な事業

- AIチャットボットによる問合せサービスの導入【新】
- フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）サービスの拡大
- 民間で利活用できるオープンデータの公開
- 福祉総合相談窓口の設置【新】
- 公金納付方法の多様化対応

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

③ 暮らしを支える地域公共交通の検討

- 車に乗らない人も暮らしやすいまちを目指し、地域と交通事業者、市が連携・協働して公共交通ネットワークの充実を図ります。
- 福祉施策との柔軟な連携、住民・NPO等によるボランティア輸送や、ICTを活用したシェアリングエコノミー※、自動運転技術など、公共交通を補完・充実させる移動手段を検討します。

※シェアリングエコノミー：物・サービス・場所などを、多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組みのこと

具体的な事業

i-バスの運行

i-バスミニの運行

既存の枠組みにとらわれない、新しい移動手段の導入の検討【新】

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

第5章 推進・検証体制

1 本市の推進体制

市長を本部長とする「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」により、関係部署相互の緊密な連携を図りつつ全庁的に取り組み、総合戦略の各施策・事業を効果的に推進します。

また、市民をはじめ、産業界、行政、教育機関、金融機関、労働団体、メディアほか有識者で構成する「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」により、目指すべき将来像や施策について、幅広い助言及び意見を聴取します。

2 進捗管理・検証体制

計画期間は、数値目標と KPI により、毎年、総合戦略で取り組む具体的な施策の検証を行うこととします。

また、その設定数値等を基に「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」および「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」において、各施策の効果を検証するとともに、必要に応じて指標の追加や目標値の修正等の見直しを行います。

総合戦略の策定、実行から検証、見直しまでの一連の PDCA サイクルの確立により、目標達成に向けた継続的な取組を推進します。

参 考 资 料

●人口ビジョン（抜粋）

1 対象期間

国の長期ビジョンの期間と同じ 2060 年までとします。

2 人口の将来展望

国の長期ビジョンとこれまでの分析結果や目指すべき将来の方向を踏まえて、以下の仮定値により、市独自推計として将来人口を展望します。

国は「長期ビジョン」において、子育て支援策等の施策を行い、若い世代の結婚・子育ての希望が実現するならば、合計特殊出生率は 2030 年に 1.8、2040 年に人口置換水準 2.07 を達成するとしています。愛知県においても、県の合計特殊出生率は 2014（平成 26）年度で 1.46 と全国平均を上回っており、また既婚者の「夫婦の予定子ども数」が 2.03 人、未婚者の結婚希望割合が 92%、理想の子ども数が 2.11 人であることから、県民の希望がかなった場合の出生率を 1.8 と算出しています。

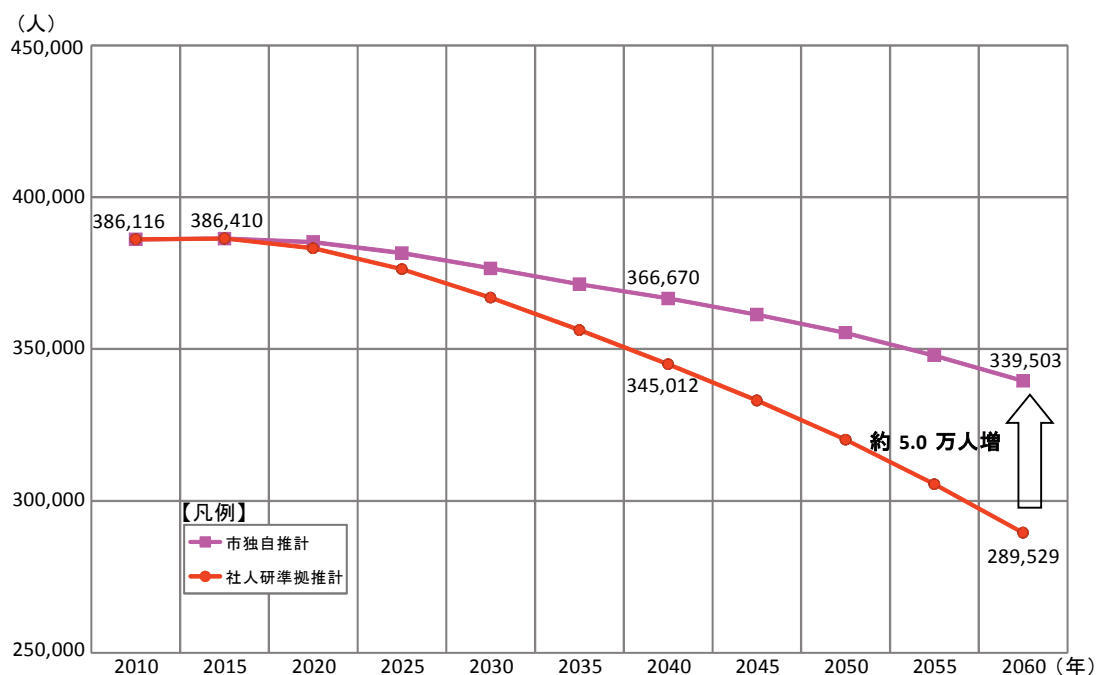
本市の 2014（平成 26）年度の合計特殊出生率は 1.42 と、愛知県の数値を下回るものの、全国平均と同水準であり、2015（平成 27）年度に子育て世帯に対して行ったアンケート調査の結果では、「現在の子ども数」と「今後持つつもりの子ども数」の合計の平均は 2.46 人となっています。これらのことから、本市においても若い世代の結婚・子育て世帯の希望をかなえる施策を行うことで、合計特殊出生率は 2030 年に 1.8、2040 年に 2.07 を達成すると仮定します。

若年層の転出抑制と転入促進を図るため、地域で就学・就業する施策や、子育て世代の転出抑制と転入促進を図るために、子育て環境の拡充、居住地の確保、中心市街地のサービス向上等の施策を実施することにより、純移動数を現在の 2 倍程度（+1,800 人/5 年）まで増えると仮定します。

○ 総人口の将来展望

社人研準拠推計では2060年の総人口は289,529人となっていますが、仮定値とした目標を達成し推移した場合の市独自推計では2060年の将来人口は339,503人となり、社人研準拠推計と比較して約5.0万人の施策効果が見込まれます。

なお、2015（平成27）年の人口と比較して、市独自推計の場合は約4.7万人の減少に留まります。



【図】 総人口の推計（2015年～2060年）

● アンケート結果

1 転入者・転出者に対するアンケート調査結果

調査対象者：平成30年1月～令和元年6月の間の東京圏から一宮市への転入者、および一宮市から東京圏への転出者のうち、20～49歳の世帯主またはその配偶者

調査期間：令和元年9月2日～9月30日

調査方法：調査票を郵送し、郵送またはウェブ（電子申請・届出システム）にて回答

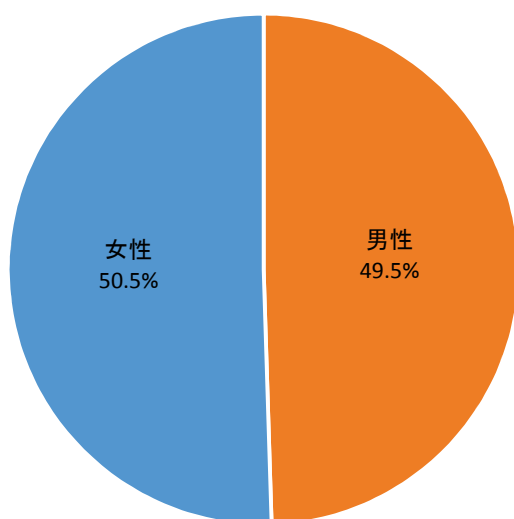
回答数：188人（転入99人、転出89人）

（内 訳）	送付数	回収数	（回収率）
転入	395件	99件	（25.1%）
転出	408件	89件	（21.8%）

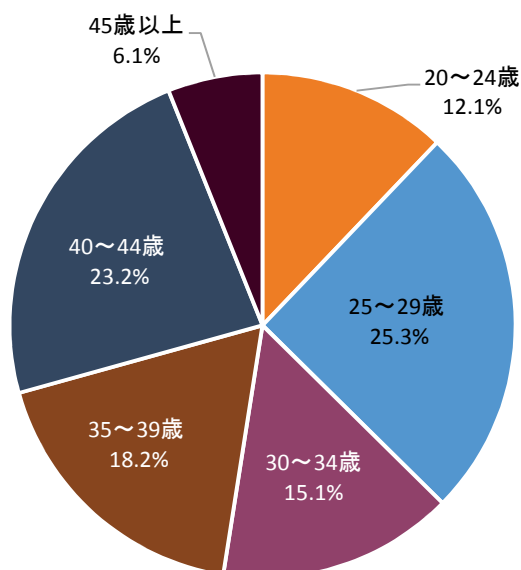
■ 転入者編 （回答数：99）

【回答者の属性】

○性別

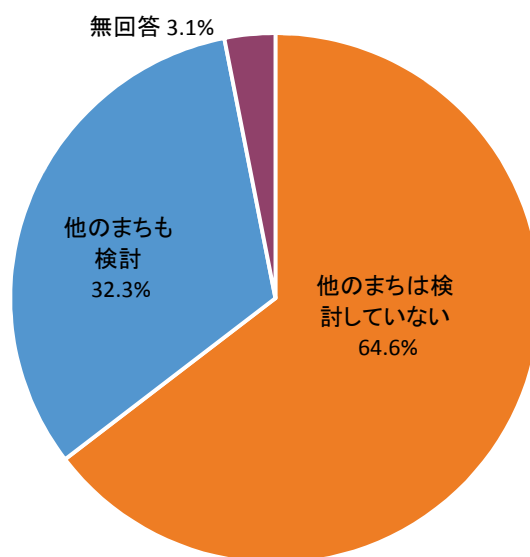


○年代



(1) 引越し先として一宮市以外を検討したか？

引越し先を決める際、一宮市以外を検討したかについては、6割強の人が他のまちは検討せず一宮市に引っ越していましたが、約3割の人は一宮市以外のまちを検討していました。検討したまちとしては、名古屋市が特に多く、次いで稲沢市、岐阜県岐阜市、北名古屋市、江南市など、尾張北西部に絞り検討している人が多いことがわかります。

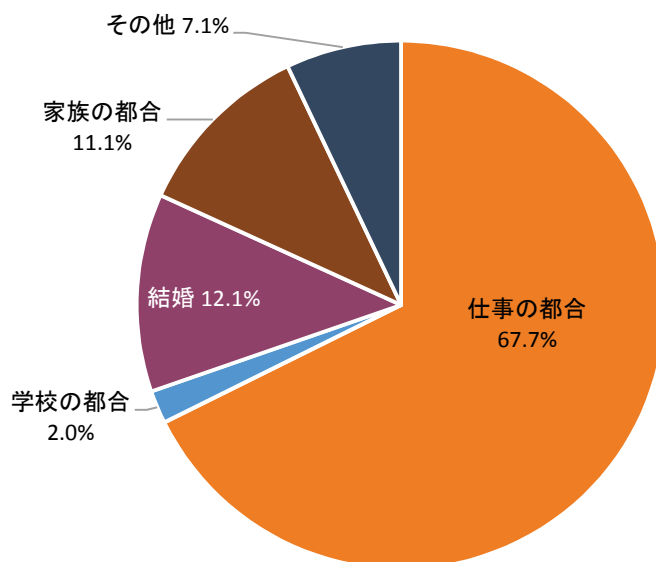


▽他に検討した市町

名古屋市	14人
稲沢市	8人
岐阜県岐阜市	5人
北名古屋市	3人
江南市	3人
清須市	2人
あま市	2人
春日井市、岡崎市、刈谷市、岐阜県笠松町	各1人

(2) 引越しの主な理由

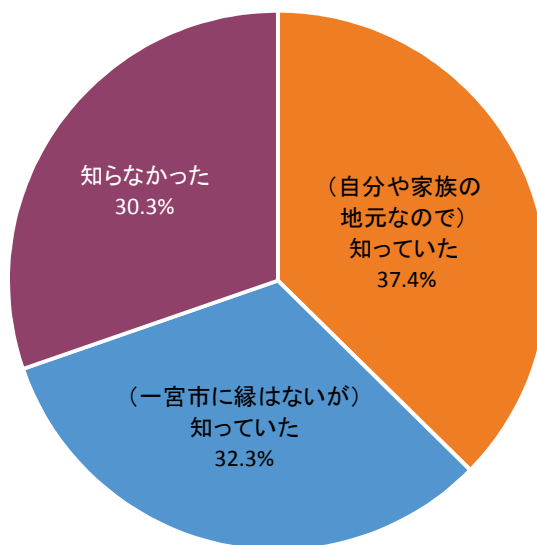
引越し（転入）の契機となった理由は、就職、転勤など「仕事の都合」によるものが全体の7割近くを占めていますが、「結婚」や「家族の都合」によるものも、あわせると2割以上を占め、生活環境の変化により、引越しをされていることがわかります。



(3) 引越し前に一宮市のことを知っていたか？

引越し前に「一宮市を知っていた人」は、全体の約7割を占めていました。

また、東京圏から一宮市に引越した人のうち、「一宮市に縁はないが、一宮市を知っていた人」が3割いますが、その一方で、「転入前は一宮市のことを知らなかった人」も約3割いることがわかり、市の知名度の向上が求められます。

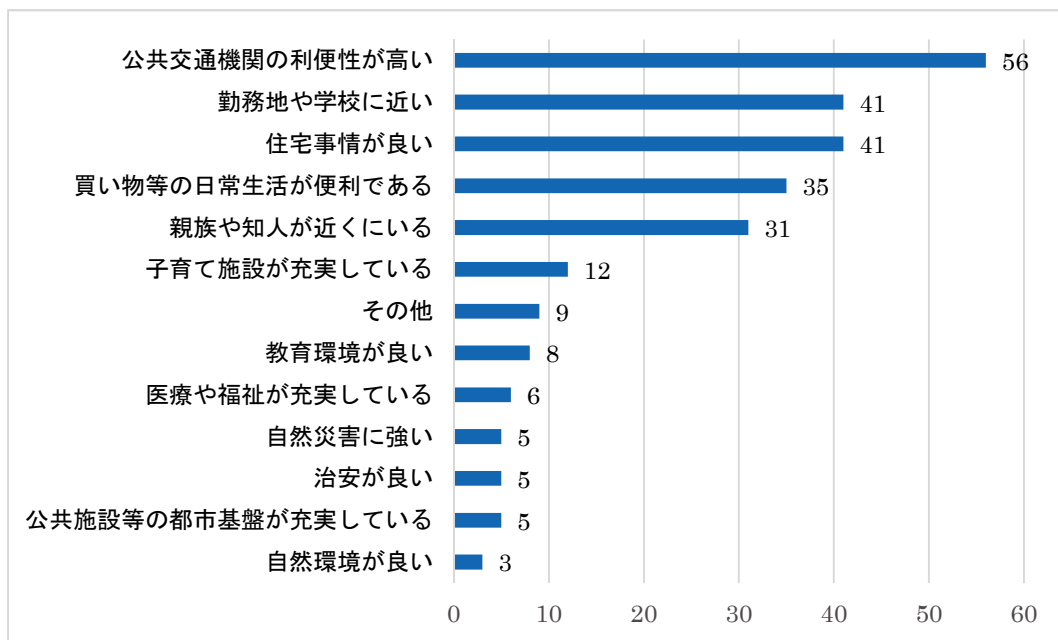


(4) 引越し先を決める際に考慮した条件は何か？（複数回答）

一宮市に引越し（転入）することを決める際に考慮したことは、「公共交通機関の利便性が高い」が56件と最も多くなっています。なお、5年前に行った、対象を「東京圏からの転入者」に限定していないアンケートの同じ設問では、「公共交通機関の利便性が高い」は、4番目に多くなっていたことから、「東京圏から引越しする人」については、公共交通機関の利便性を特に重視していることがわかります。

次いで、「勤務地や学校に近い」41件、「住宅事情が良い」41件、「買い物等の日常生活が便利である」35件、「親族や知人が近くにいる」31件と利便性を理由に挙げている人が多く、引越し先を決めるのに、日常生活での利便性が重視されることを、意識していく必要があります。

(単位：件)



(5) 今後の一宮市に対する自由意見

転入者の一宮市に対する自由意見を主な分野に分けると、「生活環境・交通」に関する意見(44件)が最も多く、名古屋への鉄道の利便性という高評価がある一方、交通マナーが悪いといった記載も目立ちました。

次に、「施設整備」が続き、138タワーパーク、i-ビル(図書館)など、施設の充実についての良い記載が多くありました。

「その他」ではゴミ出しや、治安に関するマイナスの意見も多数見られ、移住・定住者を獲得する面からも、生活環境の快適さと安全・安心を更に意識していく必要があることがわかりました。

No.	主な分野	件数
1	生活環境・交通	44件
2	施設整備	22件
3	福祉・医療・子育て	13件
4	教育・文化・イベント	12件
5	商業・産業	4件
6	風土・コミュニティ	2件
7	その他	27件

※複数同じ意見があった場合、(〇件)と表記しています。

意見の主な内容	
No. 1	生活環境・交通
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋へのアクセスが良い(9件) ・レストラン等が充実している(2件) ・のどかで静かなので過ごしやすい ・一宮に住み始めて1年が過ぎたが、名古屋駅へのアクセスの良さや、138タワーパークなどでイベントを定期的に行っていて遊びやすいところが気に入っている ・利便性が良い ・家賃が手頃 ・駐輪場が無料 ・道路がきれい ・住宅はもちろん、歩道も広く、空間的にゆとりがあり安全・安心 ・まちに施設等が充実している割に人が少なく住みやすい ・都市に比べて圧倒的に空が広く、公園も多い 	

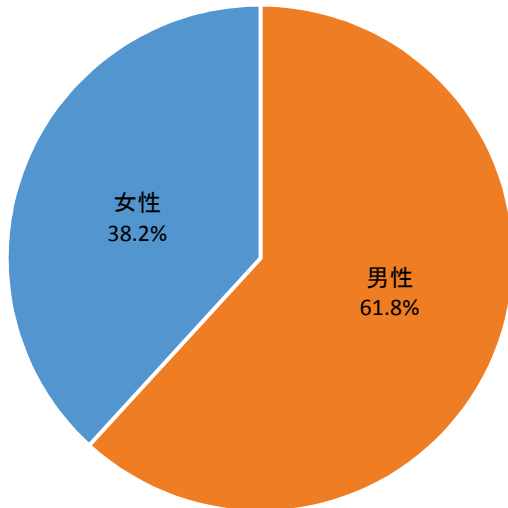
No. 1 生活環境・交通（続き）
<p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通マナーが悪い（7件） ・車がないと不便（7件） ・バスの本数、ルートが少ない（5件） ・道路整備が必要な箇所が多い（3件） ・歩道が狭く、少ない（2件） ・駅周辺は居酒屋が多く、家族で食事を楽しめるレストランが少ない <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車を所有していないので、カーシェアリングのステーションが近くにあると良い
No. 2 施設・整備
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・i-ビル（図書館、子育て支援センター）の充実（9件） ・138タワーパークなど、大きな公園が充実（2件） ・スポーツ施設が無料で利用できる <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない（3件） ・近所の公園の管理が悪い ・一宮駅周辺以外の駅周辺も施設なども充実させてほしい ・図書館はありがたいが、動線が悪い気がする。ジャンルの表示があると嬉しい <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に大きな商業施設がないため、一宮駅前を利用することがほぼ無い ・乳幼児が遊べる施設を増やしてほしい
No. 3 福祉・医療・子育て
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費が無料なのが良い（3件） ・子育てしやすい環境が整っていることは魅力（2件） ・公立保育園に年長で通うことができ、パートで働けるようになった ・保育園に入れた。発達支援をちゃんと受けられる ・児童館で未就学児の幼児教育を無料で行っていることがお勧めできる ・医療機関の豊富さ（2件） <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代向けスポットが少ない（2件） ・病児保育の枠が少ない ・里帰り出産で長期間県外にいる際の予防接種が無料ではないことが辛い
No. 4 教育・文化・イベント
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕まつりは老若男女楽しめる素晴らしい祭だと思う（4件） ・一豊まつりがとても良かった ・公立学校のレベルが高い ・ハロウィンイベントはすばらしい。毎週末巡って楽しかった ・マネー講座など、講座が無料で受けられたのが良かった

No. 4 教育・文化・イベント（続き）
<p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表記が少なすぎる。もっと外国人の受入れに対応できるよう改善すべき <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史蹟の認定・説明の強化
No. 5 商業・産業
<p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールやホームセンター等を誘致するなど、ベッタタウン化に舵を切るのが良いのではないか ・一宮駅前の活性化を期待（2件） ・農業をやっている人も多いので、産直朝市広場みたいなイベントを本町アーケードや公民館などでやってほしい
No. 6 風土・コミュニティ
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が親切 <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場で並べない人が多い
No. 7 その他
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙・ダンボールなど24時間回収場所があるのは良い ・ビンを捨てるところが明らかに少ない ・指定のゴミ袋が必要なのは不便（引越し前の市は指定のゴミ袋なし） ・段ボールが月1回、缶・ペットボトルが月2回の回収は少ない。できれば週1で回収があると生活しやすい <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙が遅い ・ゴミ捨てが不便。ビンや段ボール等を捨てるのが大変面倒 ・東京より水がおいしいと思っていたら、意外と臭くてがっかりした ・夜のバイク騒音はなくしてほしい ・近所で空き巣被害が出ており、自宅に一人でいるのが怖い ・尾州の織物をもっと積極的にアピールしてほしい ・用水路で発生する虫の対策をしてほしい ・一宮 IC 周辺にホテルが多い。県外から遊びに来た友達にもびっくりされて、非常に恥ずかしかった ・街灯が少なく暗い ・お出かけスポット、見どころが少ない <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとインスタ映えするスポットや観光名所、名産などあると良い <p style="text-align: right;">など</p>

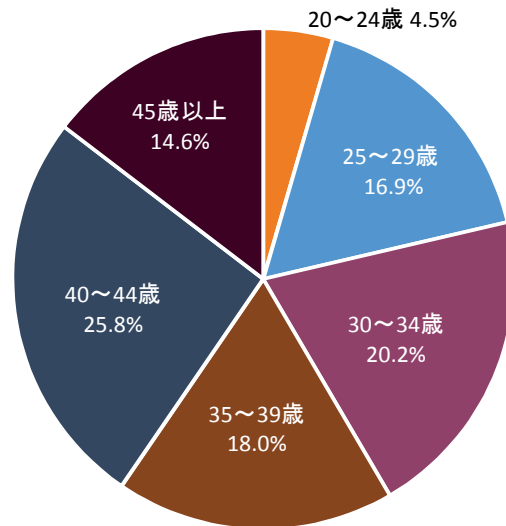
■転出者編 (回答数 : 89)

【回答者の属性】

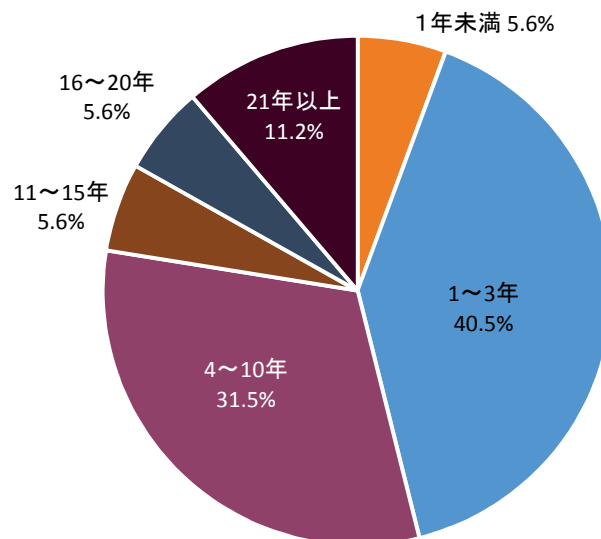
○性別



○年代



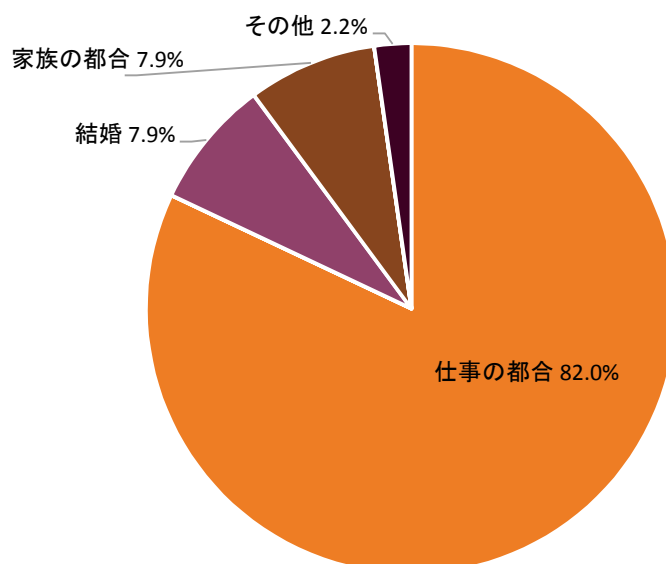
○一宮市には何年住んでいたか？



(1) 引越し（転出）の理由

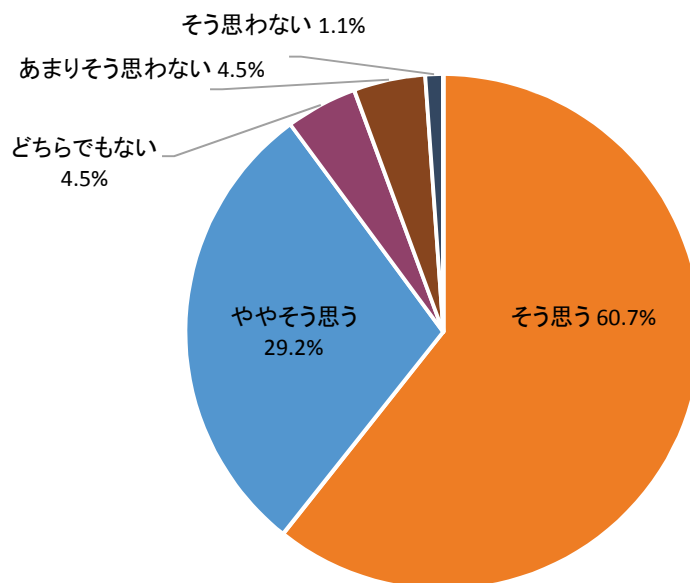
一宮市から転出する際の理由としては、仕事の都合が最も多く約8割を占め、結婚、家族の都合による人がそれぞれ1割程度でした。

傾向としては、転出と同様ですが、転出に比べわずかながら、家族の都合、結婚、学校の都合の割合が低いことがわかりました。この数値からは、一宮市からの転出は就労に関して移動せざるを得ないものが多いことがわかります。



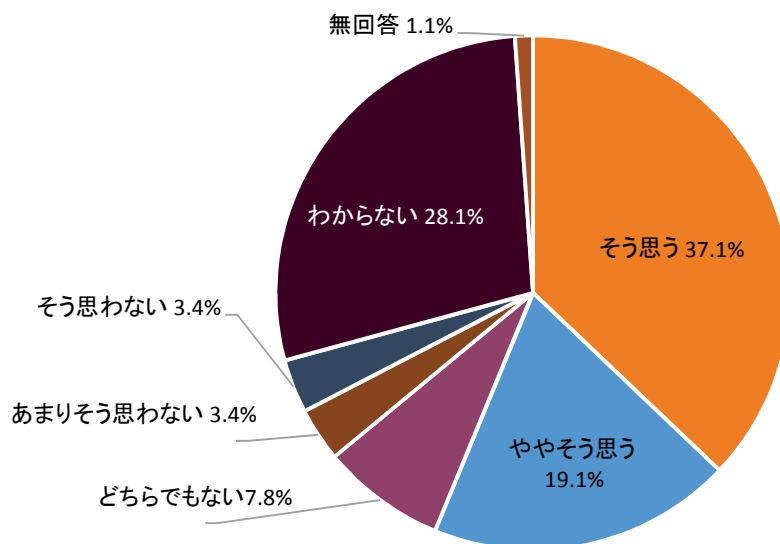
(2) 一宮市は暮らしやすいまちだったか？

転出者のうち、「一宮市が暮らしやすいまちだと思う人」の割合は、全体の約9割にもものぼり、大変高い割合となっています。その理由の多くは、名古屋との距離の近さなど、交通の利便性によるものが多く、転入者へのアンケートの結果とも一致しており、やはり、交通の利便性は、本市の大きな強みであると言えます。



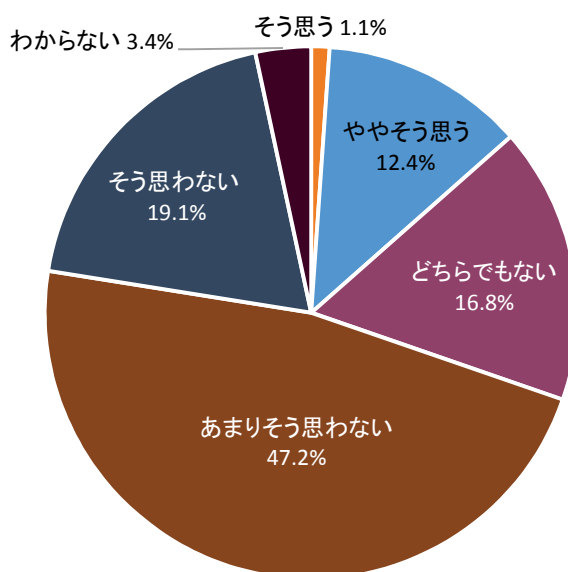
(3) 一宮市は子育てするのに適したまちだったか？

「わからない」と回答した人のほとんどは、「子どもがいない」という理由でした。「わからない」の回答を除いて再集計すると約8割の人が「一宮市は子育てするのに適したまち」と答えており、その理由としては、子育て支援センターや公園の充実などが評価されています。



(4) 一宮市は観光などで訪れたいくなるような魅力のあるまちだと思うか？

前述の(2)暮らしや(3)子育ての設問に比べ、「一宮市が観光などで訪れたいくなる魅力があると思う人」の割合は全体の1割程度に留まりました。一宮市は、生活のしやすさの実感はあるものの、観光面で市外から人を呼び寄せる魅力はあまりないと思っている人が多いことがわかりました。



(5) 今後の一宮市に対する自由意見

一宮市から転出した人が思う意見としては、「生活環境・交通」に関する意見（39件）が最も多く、一宮市に転入した人のアンケートと同じ傾向でした。

次に、「教育・文化・イベント」では七夕まつりなどのイベントに対する意見が多く、続いて「施設整備」が多くなっています。

また、「その他」では「一宮市の環境は良い、いつか一宮市に戻りたい」といった意見も寄せられました。

No.	主な分野	件数
1	生活環境・交通	39件
2	教育・文化・イベント	15件
3	施設整備	14件
4	福祉・医療・子育て	10件
5	商業・産業	8件
6	風土・コミュニティ	6件
7	その他	23件

※複数同じ意見があった場合、(〇件)と表記しています。

意見の主な内容	
No. 1	生活環境・交通
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋からのアクセスが良い（8件） ・交通の便が良い（4件） ・坂道が少なく、バスの本数も多い ・住むには良いところ（3件） ・都会と田舎のバランスがちょうど良い（3件） ・車があれば暮らしやすい。 ・おいしい飲食店が結構ある ・道路が整備されている ・病院、学校、保育園などが多く、子育てしやすいまち ・商業施設の充実（3件） ・住宅が安い <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスがもっと充実してほしかった（4件） ・交通マナーが悪い（3件） ・道路標識等が明確でないところがあり、危ないと思った ・駅ではタクシーが捕まらない 	

No. 1 生活環境・交通（続き）
<p>△良くない点（続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治安があまり良くない ・駅が少ない、公共交通機関が利用しづらい ・ショッピングモールが少ない印象 ・駅近に賃貸マンションがもっとあると嬉しい ・駅周辺から離れると閑散としているイメージ ・公共の乗り物が少ない ・交通渋滞 ・電車の乗り換えが不便 名古屋から直通で普通電車がない 駅のホームが狭くて危険。普通電車の本数が少ない ・一宮中央プラザの外装の色が悪い ・愛知県の中でも一宮市の人は傲慢で自分優先の人が多く非常に品格が低いと感じる
No. 2 教育・文化・イベント
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕まつりが楽しかった（5件） ・日本語ひろばがあり、国際交流に力を入れているところは市の長所だと思う ・月1の福祉マルシェやウェルカムチケットは良い制度だと思う ・モーニング文化をうまくPRされていると感じる <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、観光スポット等は魅力を感じない <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとイベントがあっても良い ・七夕まつりのミスコンはもうやめたらどうか ・タワーパークマラソンをハーフマラソンにしてほしい
No. 3 施設・整備
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・i-ビル図書館等の公共施設が充実（6件） ・138タワーパークがのんびりできて良い（4件） ・サイクリングロードの整備はもっとアピールしても良いと思う <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子を遊ばせる場所はあるが、中・高校生が遊べるような場所があまりないし、他県から来ても紹介できる場所もない ・もっと本町商店街をオシャレな所にしてほしい。一宮駅周辺もダサイ <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと行けるスポットが多くあると良い
No. 4 福祉・医療・子育て
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院がとて多く、自分にあった病院選びができた ・自立支援の制度が手厚くて一人暮らしの自分にとってはとても助かった ・子育て支援センターの充実ぶりは、他市にはない ・子育てサポートが充実

No. 4 福祉・医療・子育て（続き）
<p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立の幼稚園がない ・手当等所得制限はやめてほしい ・高齢者にばかりでなく、子育て世代にもっと力を入れてほしい。女性は子どもができる正社員では働けず、負担ばかりが多く魅力があるまちとは言えない <p>□その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ても大事だが、子どものいない世帯にも暮らしやすいまちになってほしい ・自立支援の1割支払いを市で負担してほしい ・子どもと遊べるイベント、サロン情報がもっとあると良い ・保育園児と一緒に遊ぶ、リズムや音楽の運動ができると良い
No. 5 商業・産業
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前からアーケードあたりの飲食店もたくさんあって良かった ・カフェの多さは魅力 ・駅前に居酒屋が多い ・商店街の飲食店は割と美味しくて良かった <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街がさびしい（2件）
No. 6 風土・コミュニティ
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に人が優しい（3件） ・名古屋に近いが、名古屋よりのんびりしている <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治安が悪い（2件） ・よそから来た人を受け入れる寛容さに欠けていると思った ・年代問わずモラルが低いと感じる
No. 7 その他
<p>○良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いちみん」がかわいい（2件） ・ゴミ出しの分別が分かりやすかった ・家計に優しい ・真清田神社はかなり強い「仕事の神様」だどこかのサイトに書いてあった。外観も立派で商店街の道が独特の世界観を作り出していて良かった ・市役所の人が圧倒的に親切 <p>△良くない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光名所が目立たない（2件） ・ランニングをするとき、一宮駅から2kmくらい離れたスポットは灯りが少なく、一人で走るのは心細かった ・少し市民税が高かった ・一宮駅の周り以外に魅力がない ・全国的には市の知名度は高くない ・排気ガスなど環境がよくない <p style="text-align: right;">など</p>

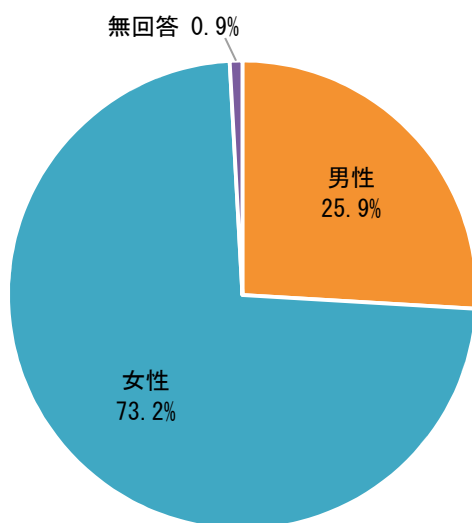
2 健康に関するアンケート調査結果

調査対象者： 第35回市民健康まつり来場者
調査日： 令和元年9月1日
調査方法： 来場者に手渡しし、回収箱により回収
回答数： 798人

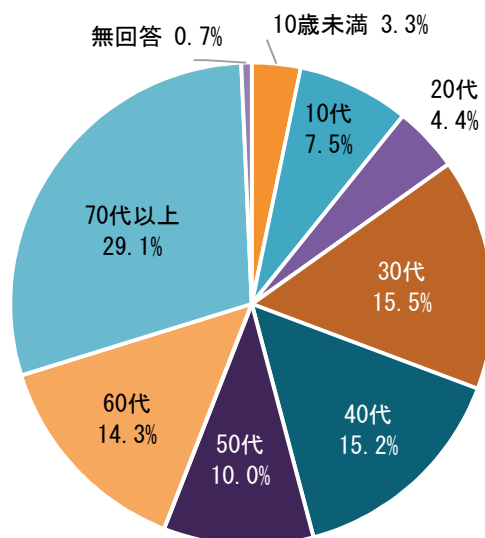
比較的、健康への意識が高いと思われる、「健康まつり来場者」を対象に、アンケートを行いました。

【回答者の属性】

○性別

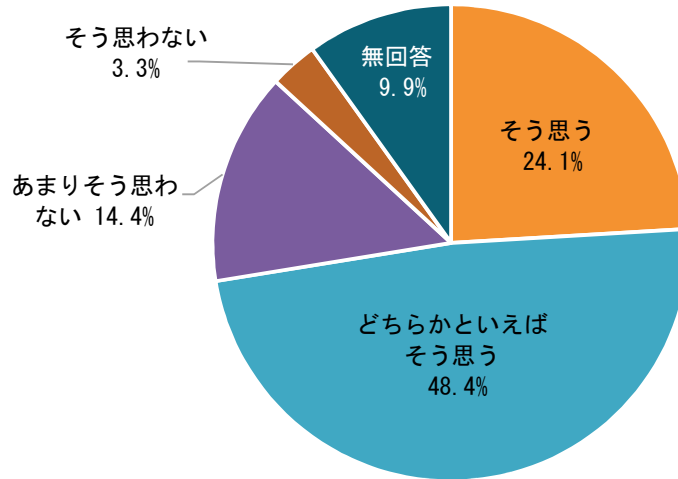


○年代



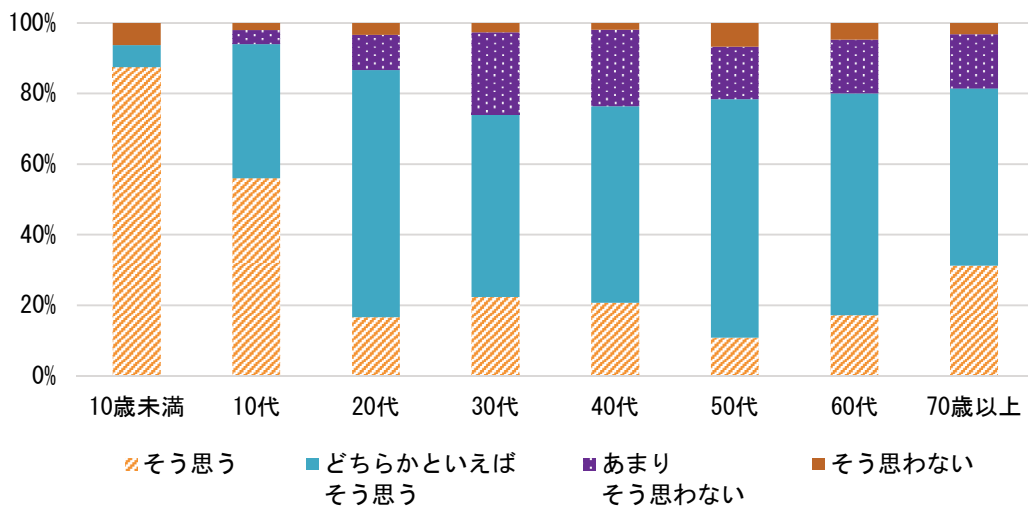
(1) 自分は健康だと思うか？

自分が健康かどうかについての問いには、全体の7割以上の方が健康だと答えています。



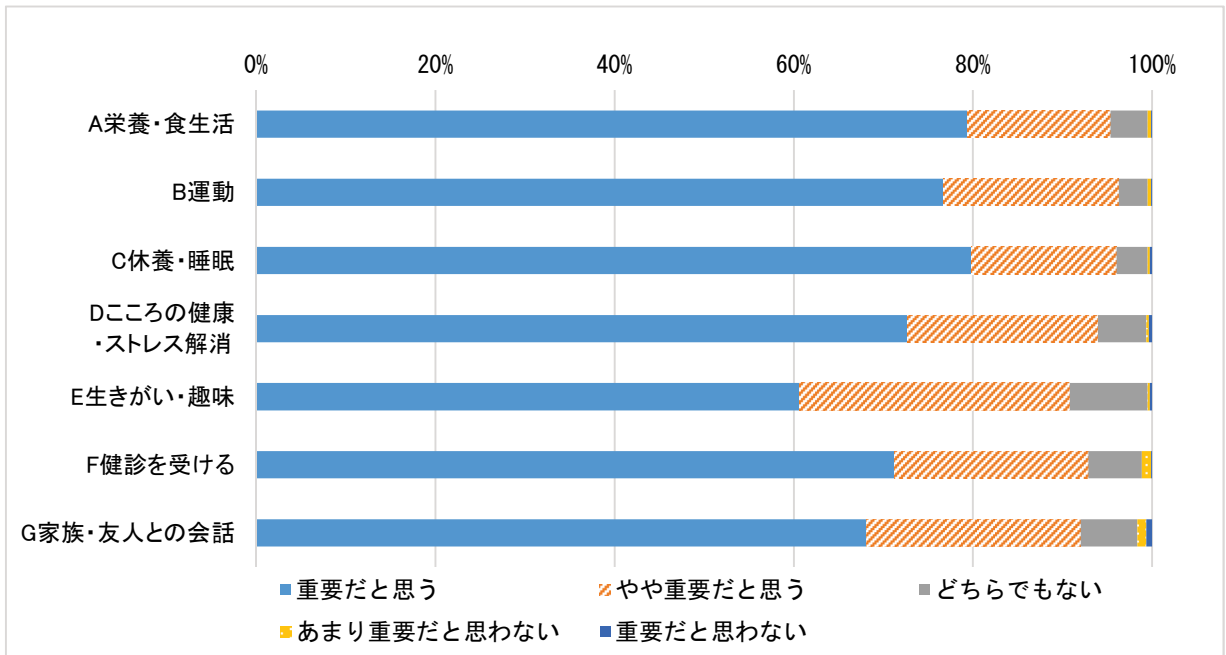
○自分は健康だと思うか？（年代別）

(1)の問いを年代別にみると、30代、40代の方の「あまりそう思わない」と思う割合が高くなっています。また、「そう思わない」という人の割合は、50代の方で一番高くなっており、働き盛りの世代の方が不調を感じていることがわかります。



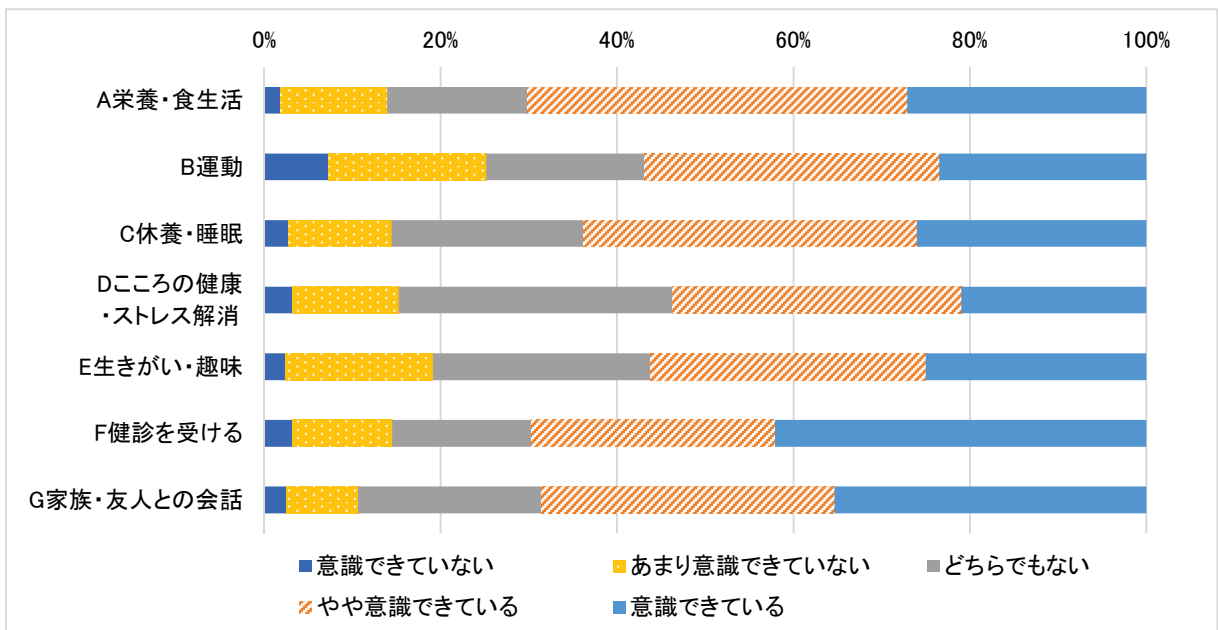
(2) 健康に関する各項目に対し、重要だと思うか？

健康に関する各項目に対する重要度については、特に「運動」、「休養・睡眠」、「栄養・食生活」の項目で、「重要」、「やや重要」と思う人の割合が高くなっています。



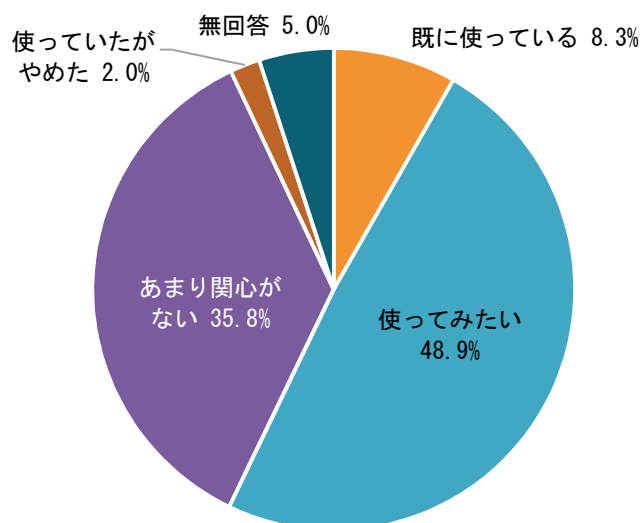
(3) 健康に関する各項目を、意識した生活ができているか？

(2) (重要度) に対し、日頃、自身が健康に関する各項目を意識した生活ができているか否かについては、「運動」の項目で、「意識できていない」と答えた人の割合が高くなっていました。日々の生活に運動を取り入れるきっかけづくりが求められます。



(4) ICT を活用した健康づくりについて

ICT を活用した健康づくりについては、「既に使っている」という人が1割程度、「使ってみたい」と思う人が半数程度いることがわかりました。



(5) 市の取組に対する自由意見

市が取り組むと良いと思うことへの自由意見については、「健康に関するイベント・講座」に関する意見が最も多いですが、次に「遊歩道・公園や運動施設の整備」、「運動・身体活動」が続くなど、実際に体を動かす場の創出に対する期待も大きいことがわかりました。

No.	主な分野	件数
1	健康に関するイベント・講座	16件
2	遊歩道・公園や運動施設の整備	14件
3	運動・身体活動	14件
4	健康診断	14件
5	高齢者の運動、つながり	6件
6	医療費・保険	5件
7	人とのつながり	4件
8	栄養・食生活	4件
9	子ども・親子に関すること	3件
10	その他（情報提供、公共交通機関の充実、障害者の健康 など）	13件

3 企業向けアンケート調査結果

調査対象：一宮商工会議所、尾西商工会、木曾川商工会の会員企業（349社）
 調査期間：平成31年4月
 回収方法：各企業に調査票を郵送し、FAXにより回答
 回答数：158社（回答率45.3%）

（1）高年齢者、女性雇用促進の取組内容（158社中） ※自由記載

- ・高年齢者の雇用・継続雇用 94社
- ・育児休暇の取得の推進 23社
- ・女性の再雇用 14社
- ・出産前後の女性の継続雇用 8社
- ・短時間勤務 5社
- ・在宅勤務 2社
- ・有給休暇の取得の推進 2社
- ・託児に対する独自手当 1社
- ・短時間正社員制度 1社
- ・退職制度 1社

（2）取組をしていない理由

高年齢者の雇用・継続雇用については多くの企業で取り組まれています。出産・育児等に関する休暇については、特に少人数の企業において、人手不足により取組が進んでいない傾向が見受けられます。

主な理由（自由記載）	
人 員	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇は小さな会社では難しい ・少人数の会社のため取り組むには余剰人員が必要となり、利益上難しい ・代替要員の確保 ・人手不足のため ・零細企業の社員確保（若い人材）
業 種	<ul style="list-style-type: none"> ・業種的に高年齢者は難しい ・女性の再雇用等は今までなく、体力が必要となる仕事内容のため ・業務内容が高所作業及び力仕事であるため
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者の健康・体力面の不安 ・経費が増える ・具体的な取組方法がわからない ・短時間労働者が多い

(3) 行政に期待すること

市では、女性の活躍促進や男性の育児休業取得、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への出前講座や、好事例の募集を行っていますが、より周知と利用の拡大を図る必要があります。

また、高齢者や女性の雇用に対する声も多数見受けられたことから、企業と働きたい人のマッチングの機会を充実させる必要があります。

主な内容（自由記載）	
情報提供	<ul style="list-style-type: none">・他社の課題解決の具体的な方法の情報提供やセミナーの開催・心の育成のセミナー等、研究会の開催
環境整備	<ul style="list-style-type: none">・子どもが病気でも預けられる場所の整備
助成	<ul style="list-style-type: none">・助成金の継続や企業への評価加点・雇用の助成・高齢者が働きやすい環境（照明・バリアフリー等）への改善工事への補助金
その他	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の雇用に対する支援・人材紹介・派遣代行、家事代行